第2 令和4年度予算の補正の概要について

1 補正予算の概要

令和4年度の当初予算については、前回の「財政状況」に掲載しておりますように、知事選挙が実施されることを考慮し、いわゆる骨格的予算として編成しました。

その後、2月定例府議会において、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の延長に伴う、営業時間短縮要請等に協力いただいた事業者に対する協力金の支給に必要な予算の増額など、一般会計で236億3,400万円の予算補正を行いました。



5月臨時府議会では、高齢者施設等で多数のクラスターが発生した第6波の課題を踏まえ、 医療支援ネットワークの構築など新型コロナウイルス感染症にかかる医療提供体制の強化を図 るほか、国際情勢の影響による原油価格や物価の高騰を受け、府内中小企業、農業・畜産業者 への支援の強化や幼稚園等における給食費の負担軽減など、緊急に施策を講じるため、一般会 計で13億8,900万円の予算補正を行いました。

令和4年度 5月補正予算案

窓 京都府

予算編成の基本方針

新型コロナから府民の命と健康を守り、暮らしと経済を 立て直すことは、引き続き喫緊の課題。加えて、昨今の国 際情勢を踏まえた原油価格や物価の高騰により、社会経 済情勢は予断を許さない状況。

このような状況を踏まえ、緊急的な対策を実施。

高齢者施設等で多数のクラスターが発生した第6波の課題 を踏まえた医療提供体制の強化

事業者への支援強化

施設・設備の省エネ・高効率化を図る取組 上限500万円

代替部品の共同開発等の取組 上限1,000万円 🗼

コンプレッサーの省エネ化、空間制御システムの導入など

- ▶ 府内中小企業、農業・畜産業者への支援強化
- ▶ 幼稚園等における給食費の負担軽減

ハード対策 中小企業緊急対応支援補助金を積み増し

事業者に対する緊急支援策を強化

1.1億円規模

医療提供体制の強化

高齢者施設等における医療提供体制を強化

7.1億円規維

医療支援ネットワークを構築し、施設内感染防止のサポート強化

医療支援ネットワークの構築

- 施設医をバックアップする<u>往診コーディネートチームを医療圏域毎に設</u>
- 施設の要請により、

)ない。 治療薬投与や医療的ケアを行うことができる<mark>医師・看護師を派遣</mark>

施設医の往診に対する支援

○ 感染発生施設への往診を行う施設医に対し、協力金を支給

保健所の体制を強化

4.6億円規模

感染者への連絡・通知などの定型業務を外部委託

保健所職員が陽性者対応等の専門的業務に集中できる体制を確保

の停滞 各種製造装置に必要なプリント基板のコネクタやスイッチの代替品など

原油価格や

物価の高騰

サプライチェーン

ソフト対策 専門家の派遣による省エネ・高効率化対策の支援



事業者への支援強化

商店街施設の省エネ化を図るための取組を緊急支援

2千万円規模

エネルギーコストの上昇を踏まえ、施設の省エネ化を緊急支援

商店街組織が設置するアーケード、看板、街路灯の照明のLED化 等



肥料・飼料価格高騰に対する農業者等への緊急支援

3千万円規模

国際情勢に左右されない安定した農業経営の実現に向けた支援



海外に依存する化学肥料からの転換



輸入粗飼料依存からの転換





養牛農家の府内産粗飼料への転換を支援

幼稚園等における給食費の負担軽減

幼稚園等の給食費値上げに対する保護者の負担軽減

物価高騰等による給食費値上げを想定した緊急支援制度を創設

給食費値上げ額の1/2を府が支援

【対象】 給食を実施している府内の私立小学校、幼稚園、保育所等







予算案の規模

令和4年度 現計予算

10,619億円

令和4年度

令和4年度5月補正予算 13億円台 補正後予算額

10.632億円台

6月定例府議会では、コロナ禍の長期化や原油価格・物価高騰の影響を受け、生活に困っている方々への生活や就労支援、府内中小企業者等が行う省エネ対策や経営効率化の取組支援など、緊急対策を講じた上で、「府民の命と健康を守り抜く安心の京都の構築」、「子育てにやさしく誰もが温もりを感じられる京都の実現」、「夢(ゆめ)や希望にあふれる魅力と活力の京都の創造」という3つの観点から、「あたたかい京都づくり」の実現のため、一般会計で計251億4,100万円の予算補正を行いました。

また、6月以降も物価の高騰が進むとともに、原油価格の高止まりが続いていることから、特に影響を受ける子育て世帯や道路運送事業者等への支援、社会福祉施設等の省エネ化に資する設備更新等への支援など、緊急に施策を講じるため、一般会計で19億5,600万円の予算補正を行いました。

令和4年度 6月補正予算

窓 京都府

予算編成の基本方針

コロナ禍の長期化やウクライナ情勢に伴う原油価格・物価 高騰等の影響を受け、生活に困っている方々や府内中小事 業者への緊急支援を実施。

その上で、2期目をスタートさせる肉付け補正として、誰もが未来に夢や希望をもてる「あたたかい京都づくり」を、府民との信頼関係の下、オール京都で連携しながら進めるために必要な予算を計上する。

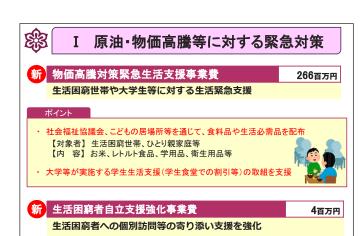
- I 原油·物価高騰等に対する緊急対策
- Ⅱ あたたかい京都づくりの始動

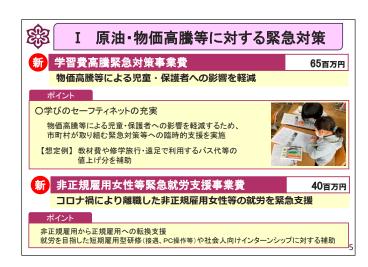
1

補正予算の施策体系 I 原油・物価高騰等に対する緊急対策 II あたたかい京都づくりの始動 府民の命と健康を守り抜く安心の京都の構築 (1) 感染症対策の強化と医療・福祉基盤の充実 (2) 防災・減災、防犯対策の強化 子育てにやさしく誰もが温もりを感じられる京都の実現 (3) 子育て環境日本一・京都の実現 (4) 府民の暮らしを温める共生社会づくり 事(ゆめ)や希望にあふれる魅力と活力の京都の創造 (5) 未来を拓く産業づくり (6) 文化首都・京都の発信強化 (7) 環境との共生 (8) 魅力ある地域づくり (9) 地域の成長・交流・暮らしを支える基盤整備

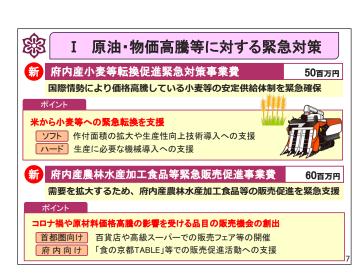
I 原油・物価高騰等に対する緊急対策

- 3









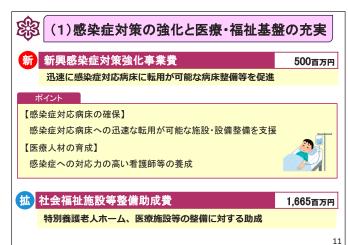


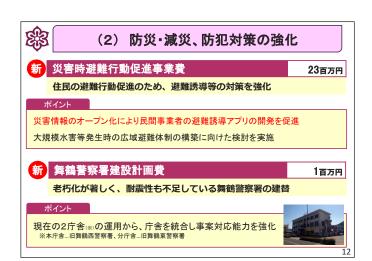
Ⅱ あたたかい京都づくりの始動

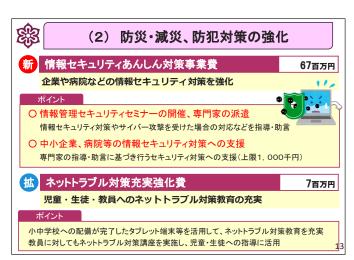
~ 府民の命と健康を守り抜く安心の京都の構築 ~

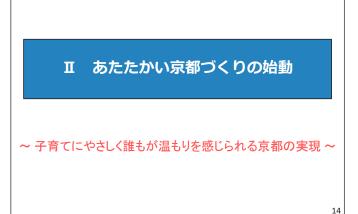
9

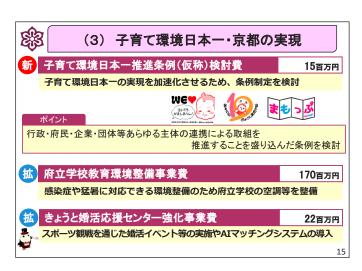


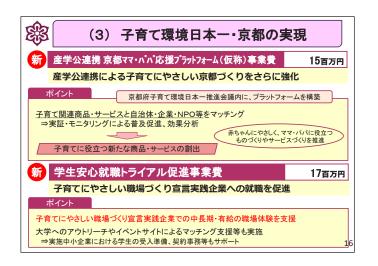


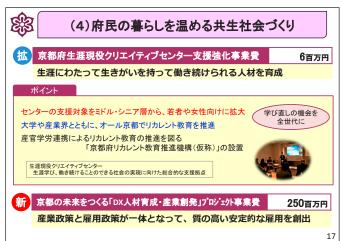








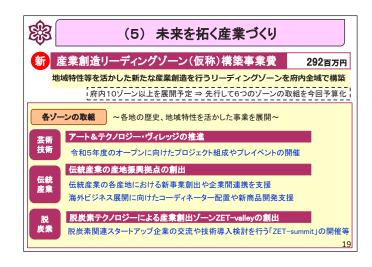


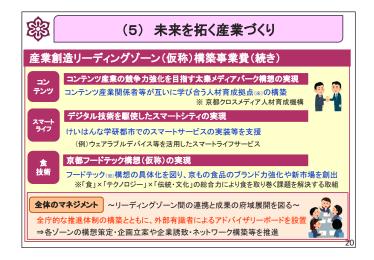


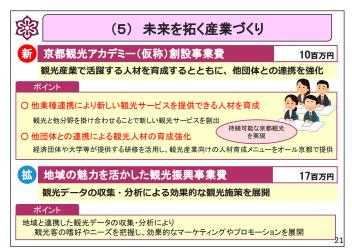
Ⅱ あたたかい京都づくりの始動

~ 夢(ゆめ)や希望にあふれる魅力と活力の京都の創造~

18

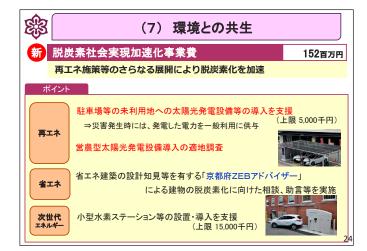


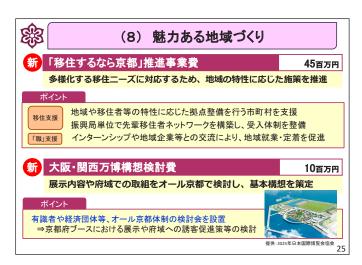


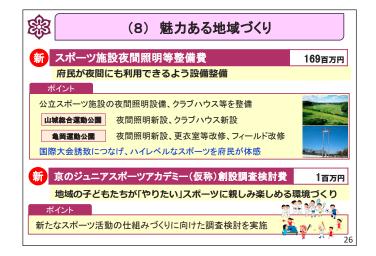










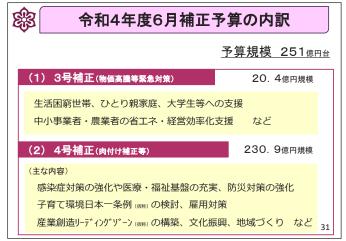












9月定例府議会では、原油価格・物価高騰が続いている状況を踏まえ、府民生活や事業活動に対する追加支援を実施するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症に対応するための医療提供体制等を確保するほか、丹後郷土資料館のリニューアル整備をはじめとする未来の京都づくりに向けた取組みなどに必要な施策を講じるため、一般会計で364億7,700万円の予算補正を行いました。

また、価格転嫁が困難な小規模事業者等への支援や年末年始に向けた府民生活への支援、コロナ禍で落ち込んだ観光需要を回復させるための全国旅行支援への対応として、一般会計で92億5,400万円の予算補正を行いました。

令和4年度 9月補正予算

窓 京都府



予算編成の基本方針

原油価格・物価高騰が続いている状況を踏まえ、府民生活 や事業活動に対する緊急支援を行うとともに、引き続き新型 コロナに対応するための医療提供体制等の確保を実施。

また、丹後郷土資料館のリニューアル整備など、未来の京都づくりに向けた整備の推進に必要な予算を計上する。

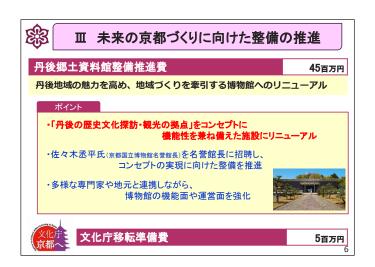
- I 原油価格·物価高騰等に対する緊急対策
- Ⅱ 新型コロナウイルス感染症対策
- Ⅲ 未来の京都づくりに向けた整備の推進

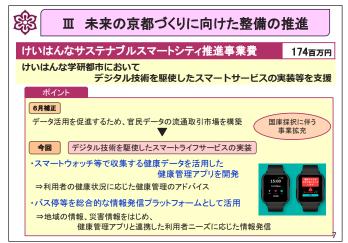
















令和4年度 9月補正予算 (追加提案)

窓 京都府



予算編成の基本方針

原油価格・物価高騰等の影響が長引く現状を踏まえ、 価格転嫁が困難な小規模事業者等への支援や年末に 向けた府民生活への支援、コロナ禍で落ち込んだ観光 需要を回復させるための全国旅行支援への対応に必要 な予算を追加計上する。

- I 事業者へのエネルギー価格高騰対策
- Ⅱ 年末に向けた府民生活支援
- Ⅲ 全国旅行支援への対応

I 事業者へのエネルギー価格高騰対策

I 事業者へのエネルギー価格高騰対策

原油価格•物価高騰等小規模事業緊急支援事業費

3,000百万円

多数の交付申請を踏まえ 予算を増額

小規模事業者等が行う省エネ対策や経営効率化の取組への支援

ポイント

厳しい状況にある小規模事業者等の取組を強力に後押し

原油価格・特別

原油価格・物価高騰等への対応のための

省エネ機器やシステム導入等(上限500千円) (支援例) 省エネ性能の高い冷蔵庫の導入 等

省エネに関するWEBセミナー、オンライン相談 ・中小企業診断士等の専門家による経営相談



総 I 事業者へのエ

I 事業者へのエネルギー価格高騰対策

医療機関·社会福祉施設等光熱費緊急支援事業費

1,459百万円

医療機関や社会福祉施設等の光熱費負担を軽減

ポイント

診療報酬や介護報酬などが法令等により定められている 医療機関や社会福祉施設等に対して支援金を支給



共同生産・管理事業エネルギー価格高騰緊急対策費

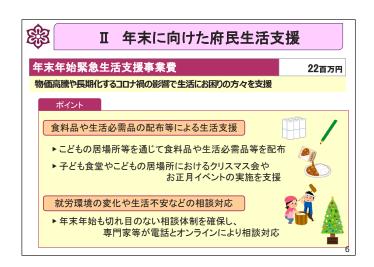
90百万円

伝統産業の産地組合や共同生産・加工施設を有する中小企業組合等の 燃料費負担を軽減

ポイント

生産工程の存続が危惧される伝統産業の産地組合や 中小企業者の生産・加工工程を担う中小企業組合等に対して支援金を支給 Ⅱ 年末に向けた府民生活支援

.



Ⅲ 全国旅行支援への対応





2 府債及び一時借入金

令和4年度における府債借入限度額として、当初予算で、一般会計866億4,000万円、特別会計1,270億6,900万円、合計2,137億900万円を計上しましたが、その後、6月定例府議会において、一般会計42億5,900万円、9月定例府議会において、一般会計3,400万円を追加計上しました。この結果、現計予算額は一般会計909億3,300万円、特別会計1,270億6,900万円、合計2,180億200万円となりました。

なお、令和3年度末の府債の残高は、一般会計及び特別会計を合わせて2兆4,196億2,719万円でありました。この結果、令和4年度末の府債の現在高見込額は、一般会計2兆3,975億2,662万円、特別会計295億692万円、合わせて2兆4,270億3,354万円となっています。

また、一時借入金は、1,200億円を最高限度として借り入れができることとなっています。

■ 平成10年度には、ピーク時500億円の一時借入れを実行しましたが、15年度以降借入実績はありません。

一時借入金の状況

